



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月30日

上場会社名 株式会社池田泉州ホールディングス 上場取引所 東・大  
 コード番号 8714 URL <http://www.senshuikeda-hd.co.jp/>  
 代表者(役職名) 取締役社長 (氏名) 藤田 博久  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役企画部長 (氏名) 鶴川 淳 (TEL) 06-4802-0013  
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 特定取引勘定設置の有無 無  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (平成25年3月期 第3四半期決算説明資料 )  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ( — )

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	80,495	△8.4	10,479	26.0	9,294	421.2
24年3月期第3四半期	87,937	△1.1	8,311	76.4	1,783	△68.8

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 10,611百万円( —%) 24年3月期第3四半期 △2,602百万円( —%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	39.46	39.44
24年3月期第3四半期	7.56	7.56

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	4,995,945	168,177	3.3
24年3月期	4,992,667	163,311	3.2

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 167,240百万円 24年3月期 162,072百万円

(注) 「自己資本比率」は、( (四半期) 期末純資産の部合計 - (四半期) 期末新株予約権 - (四半期) 期末少数株主持分 ) を (四半期) 期末資産の部合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 当社は、平成24年8月1日に普通株式、第一種優先株式及び第二種優先株式について、それぞれ、5株につき1株の割合で株式併合を行いました。

なお、平成24年7月27日に公表しましたとおり、25年3月期の配当予想につきましては、当該株式併合に伴い1株当たりの年間配当金を、普通株式は3円から15円に調整しております。

(注) 上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	110,000	△5.1	10,000	△8.2	8,500	123.0	27.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	238,458,632株	24年3月期	238,458,632株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	2,508,912株	24年3月期	3,385,921株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	235,489,324株	24年3月期3Q	235,833,887株

(注)当社は、平成24年8月1日に普通株式、第一種優先株式及び第二種優先株式について、それぞれ、5株につき1株の割合で株式併合を行いました。期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信に添付しております。
- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- ・当社は、平成24年8月1日に普通株式、第一種優先株式及び第二種優先株式について、それぞれ、5株につき1株の割合で株式併合を行いました。1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び1株当たり予想当期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

(第一種優先株式)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	196円を18.5で 除した額	196円を18.5で 除した額
25年3月期	—	—	—		
25年3月期(予想)				980円を18.5で 除した額	980円を18.5で 除した額

(第二種優先株式)

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	—	—	204円を18.5で 除した額	204円を18.5で 除した額
25年3月期	—	—	—		
25年3月期(予想)				1,020円を18.5 で除した額	1,020円を18.5 で除した額

(注) 当社は、平成24年8月1日に普通株式、第一種優先株式及び第二種優先株式について、それぞれ、5株につき1株の割合で株式併合を行いました。なお、平成24年7月27日に公表しましたとおり、25年3月期の配当予想につきましては、当該株式併合に伴い1株当たりの年間配当金を、第一種優先株式は196円を18.5で除した額から980円を18.5で除した額に、第二種優先株式については204円を18.5で除した額から1,020円を18.5で除した額にそれぞれ調整しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	2
3. 四半期連結財務諸表 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	5
(4) セグメント情報等 .....	5
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	5
(6) 重要な後発事象 .....	5

※平成25年3月期 第3四半期決算説明資料

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当社グループ連結業績につきましては、貸出金利回りの低下を主因として、資金運用収益が前第3四半期連結累計期間比37億43百万円減少したこと並びに国債等債券売却益の減少により、その他業務収益が前第3四半期連結累計期間比40億76百万円減少したことなどから、連結経常収益は前第3四半期連結累計期間比74億42百万円減少して、804億95百万円となりました。

また、預金を中心とした資金調達利回りの低下を主因として、資金調達費用が前第3四半期連結累計期間比12億20百万円減少したこと並びに株式等償却及びシステム統合費用負担の減少を主因に、その他経常費用が前第3四半期連結累計期間比53億95百万円減少したことなどから、連結経常費用は前第3四半期連結累計期間比96億10百万円減少して、700億15百万円となりました。

以上の結果、経常利益は前第3四半期連結累計期間比21億68百万円増加して、104億79百万円となりました。また、繰延税金資産の取り崩しがなくなり、法人税等が前第3四半期連結累計期間比47億47百万円減少して、13億19百万円となったことなどから、当第3四半期連結累計期間の四半期純利益は前第3四半期連結累計期間比75億11百万円増加して、92億94百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

預金の当第3四半期連結会計期間残高については、銀行業務において、個人預金・法人預金とも増加したことを主因として、前連結会計年度比860億円増加し、4兆4,765億円となりました。

貸出金の当第3四半期連結会計期間残高については、銀行業務において、事業性貸出金が増加したことを主因として、前連結会計年度比372億円増加し、3兆5,534億円となりました。

有価証券の当第3四半期連結会計期間残高については、銀行業務において、前連結会計年度比609億円減少し、1兆1,389億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年11月9日に公表いたしました通期業績予想から、変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項ありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
<b>資産の部</b>		
現金預け金	134,000	156,742
コールローン及び買入手形	698	5,382
買入金銭債権	1,494	856
商品有価証券	69	107
金銭の信託	19,000	18,913
有価証券	1,199,965	1,138,970
貸出金	3,516,142	3,553,437
外国為替	4,328	4,626
その他資産	58,831	67,963
有形固定資産	38,439	38,355
無形固定資産	9,039	7,889
繰延税金資産	32,844	32,270
支払承諾見返	26,114	23,557
貸倒引当金	△48,304	△53,128
資産の部合計	4,992,667	4,995,945
<b>負債の部</b>		
預金	4,390,453	4,476,531
債券貸借取引受入担保金	237,307	144,763
借入金	69,764	76,122
外国為替	431	333
社債	53,000	53,000
その他負債	44,800	47,076
賞与引当金	1,749	840
退職給付引当金	4,515	4,549
役員退職慰労引当金	335	136
睡眠預金払戻損失引当金	258	283
ポイント引当金	141	161
偶発損失引当金	473	346
繰延税金負債	2	59
負ののれん	7	5
支払承諾	26,114	23,557
負債の部合計	4,829,355	4,827,767
<b>純資産の部</b>		
資本金	72,311	72,311
資本剰余金	72,675	72,612
利益剰余金	30,910	34,623
自己株式	△1,944	△1,440
株主資本合計	173,952	178,107
その他有価証券評価差額金	△11,878	△10,849
繰延ヘッジ損益	△2	△16
その他の包括利益累計額合計	△11,880	△10,866
新株予約権	62	53
少数株主持分	1,177	882
純資産の部合計	163,311	168,177
負債及び純資産の部合計	4,992,667	4,995,945

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
経常収益	87,937	80,495
資金運用収益	53,048	49,305
(うち貸出金利息)	44,323	41,431
(うち有価証券利息配当金)	8,590	7,728
役務取引等収益	12,483	12,867
その他業務収益	14,414	10,338
その他経常収益	7,989	7,984
経常費用	79,625	70,015
資金調達費用	8,443	7,223
(うち預金利息)	6,250	5,217
役務取引等費用	3,992	3,925
その他業務費用	2,356	950
営業経費	42,332	40,810
その他経常費用	22,500	17,105
経常利益	8,311	10,479
特別利益	—	491
負ののれん発生益	—	491
特別損失	267	69
固定資産処分損	142	49
減損損失	124	19
税金等調整前四半期純利益	8,043	10,901
法人税、住民税及び事業税	856	1,083
法人税等調整額	5,209	235
法人税等合計	6,066	1,319
少数株主損益調整前四半期純利益	1,977	9,582
少数株主利益	193	287
四半期純利益	1,783	9,294

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,977	9,582
その他の包括利益	△4,580	1,029
その他有価証券評価差額金	△4,602	1,043
繰延ヘッジ損益	22	△14
四半期包括利益	△2,602	10,611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,801	10,308
少数株主に係る四半期包括利益	198	302

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項ありません。

(4) セグメント情報等

当社グループは、報告セグメントが銀行業のみであり、当社グループの業績における「その他」の重要性が乏しいため、記載を省略しております。なお、「その他」にはリース業務等が含まれておりません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項ありません。

(6) 重要な後発事象

本日発表の「自己株式（第一種優先株式）の取得および消却に関するお知らせ」及び「事業再生支援機能強化を目的としたオリックス株式会社及び株式会社ジェイ・ウィル・パートナーズとの業務提携に関するお知らせ」をご参照ください。



平成25年3月期 第3四半期  
決算説明資料



池田泉州ホールディングス



池田泉州銀行

【 目 次 】

1	主要損益の状況		
	(1) 池田泉州ホールディングス	連結	1
	(2) 池田泉州銀行	単体	2
2	主要勘定の状況		
	(1) 預金、貸出金、有価証券等期末残高・期中平均残高	単体	3
	(2) 投資信託・公共債・生命保険	単体	4
3	自己資本比率の状況		5
4	有価証券の評価損益の状況	単体	5
5	金融再生法開示債権の状況	単体	6

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 1. 主要損益の状況

24年12月期の連結粗利益につきましては、役務取引等利益が23年12月期比4億50百万円増加しましたが、資金利益及びその他業務利益がそれぞれ23年12月期比25億24百万円及び26億70百万円減少したことから、23年12月期比47億44百万円減少して、604億11百万円となりました。

また、営業経費は23年12月期比15億22百万円減少して408億10百万円となり、不良債権処理額も23年12月期比1億37百万円減少して93億28百万円となり、株式等関係損益は、株式等償却が減少したことから、23年12月期比22億45百万円増加し10億73百万円の損失となりました。

以上の結果、経常利益は、23年12月期比21億68百万円増加して104億79百万円となりました。法人税等合計並びに少数株主損益などを計上後の四半期純利益は、繰延税金資産の取り崩しがなくなったことなどから23年12月期比75億11百万円増加して、92億94百万円となりました。

## (1) 池田泉州ホールディングス【連結】

〈四半期連結損益計算書・四半期連結包括利益計算書ベース〉  
四半期連結損益計算書

	24年12月期		23年12月期	(百万円) 25年3月期 通期業績予想
			23年12月期比	
1 連結粗利益	60,411		△4,744	65,155
2 資金利益	42,081		△2,524	44,605
3 役務取引等利益	8,941		450	8,491
4 その他業務利益	9,388		△2,670	12,058
5 営業経費(△)	40,810		△1,522	42,332
6 不良債権処理額(△)	9,328		△137	9,465
7 株式等関係損益	△1,073		2,245	△3,318
8 持分法による投資損益	7		40	△33
9 その他	1,274		2,967	△1,693
10 経常利益	10,479		2,168	8,311
11 特別損益	422		689	△267
12 税金等調整前四半期純利益	10,901		2,858	8,043
13 法人税等合計(△)	1,319		△4,747	6,066
14 法人税、住民税及び事業税(△)	1,083		227	856
15 法人税等調整額(△)	235		△4,974	5,209
16 少数株主損益調整前四半期純利益	9,582		7,605	1,977
17 少数株主損益(△)	287		94	193
18 四半期純利益	9,294		7,511	1,783

## 四半期連結包括利益計算書

16 少数株主損益調整前四半期純利益	9,582	7,605	1,977
19 その他の包括利益合計	1,029	5,609	△4,580
20 その他有価証券評価差額金	1,043	5,645	△4,602
21 繰延ヘッジ損益	△14	△36	22
22 包括利益	10,611	13,213	△2,602

(注) 連結粗利益 = (資金運用収益 - 資金調達費用) + (役務取引等収益 - 役務取引等費用) + (その他業務収益 - その他業務費用)

## (2) 池田泉州銀行【単体】

(百万円)

	24年12月期		23年12月期	25年3月期 通期業績予想
		23年12月期比		
1 業務粗利益	54,488	△4,242	58,730	
2 資金利益	42,314	△2,289	44,603	
3 役務取引等利益	2,866	706	2,160	
4 その他業務利益	9,307	△2,659	11,966	
5 経費（除く臨時費用処理分）（△）	36,279	△2,051	38,330	
6 うち人件費（△）	17,914	△786	18,700	
7 うち物件費（△）	16,739	△1,006	17,745	
8 実質業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	18,208	△2,191	20,399	
9 コア業務純益	10,003	154	9,849	
10 国債等債券損益	8,205	△2,345	10,550	
11 一般貸倒引当金繰入額（△） ①	2,658	746	1,912	
12 業務純益	15,550	△2,936	18,486	20,000
13 臨時損益	△7,251	4,818	△12,069	
14 うち不良債権処理額（△） ②	4,426	△687	5,113	
15 うち株式等関係損益	△1,024	2,202	△3,226	
16 経常利益	8,298	1,881	6,417	9,000
17 特別損益	△43	153	△196	
18 税引前四半期純利益	8,255	2,035	6,220	
19 法人税等合計（△）	222	△4,884	5,106	
20 法人税、住民税及び事業税（△）	72	△5	77	
21 法人税等調整額（△）	150	△4,878	5,028	
22 四半期純利益	8,032	6,918	1,114	8,000
23 与信関連費用 ①+②	7,084	59	7,025	

## 2. 主要勘定の状況

## 池田泉州銀行【単体】

## (1) 預金、貸出金、有価証券等期末残高・期中平均残高

預金残高については、24年12月末残高は23年12月末比940億円増加し、4兆4,925億円となりました。  
また、貸出金残高については、24年12月末残高は23年12月末比1,113億円増加し、3兆5,631億円となりました。

## ① 期末残高

(百万円)

	24年12月末			24年3月末	23年12月末
		24年3月末比	23年12月末比		
預 金	4,492,587	84,877	94,024	4,407,710	4,398,563
貸 出 金	3,563,165	35,680	111,326	3,527,485	3,451,839
有価証券	1,143,849	△59,857	△96,975	1,203,706	1,240,824

## ② 期中平均残高

(百万円)

	24年12月期			24年3月期	23年12月期
		24年3月期比	23年12月期比		
預 金	4,415,676	56,495	56,904	4,359,181	4,358,772
貸 出 金	3,500,309	58,239	54,867	3,442,070	3,445,442
有価証券	1,210,226	△43,879	△39,969	1,254,105	1,250,195

## (参考1) 預金の種類別内訳 (期末残高)

(百万円)

	24年12月末			24年3月末	23年12月末
		24年3月末比	23年12月末比		
個人預金	3,649,590	82,704	65,620	3,566,886	3,583,970
法人預金	842,997	2,174	28,404	840,823	814,593
一般法人	721,858	△17,366	16,476	739,224	705,382
金融機関	4,224	△952	938	5,176	3,286
公 金	116,914	20,492	10,991	96,422	105,923
合 計	4,492,587	84,877	94,024	4,407,710	4,398,563
うち外貨預金	31,454	18,309	18,355	13,145	13,099

## (参考2) 貸出金の種類別内訳 (期末残高)

(百万円)

	24年12月末			24年3月末	23年12月末
		24年3月末比	23年12月末比		
貸出金	3,563,165	35,680	111,326	3,527,485	3,451,839
事業性貸出	1,803,358	34,726	112,962	1,768,632	1,690,396
個人ローン	1,759,807	955	△1,635	1,758,852	1,761,442
住宅ローン	1,723,756	3,501	△2,042	1,720,255	1,725,798
その他ローン	36,050	△2,547	406	38,597	35,644

## (参考3) 中小企業等貸出金残高・比率

(百万円、%)

	24年12月末			24年3月末	23年12月末
		24年3月末比	23年12月末比		
中小企業等貸出金残高	2,883,510	△17,721	△5,607	2,901,231	2,889,117
中小企業等貸出金比率	80.92	△1.32	△2.77	82.24	83.69

## (2) 投資信託・公共債・生命保険

生命保険販売額は減少しましたが、投資信託販売額並びに公共債販売額は順調に増加いたしました。

## ① 預かり資産販売額

(百万円)

	24年12月末		23年12月末
		23年12月末比	
投資信託販売額	63,690	15,607	48,083
公共債販売額	11,405	3,371	8,034
生命保険販売額	67,554	△6,355	73,909
合計	142,649	12,622	130,027

## ② 預かり資産残高

(百万円)

	24年12月末			24年3月末	23年12月末
		24年3月末比	23年12月末比		
投資信託預かり資産残高	180,528	△4,332	5,376	184,860	175,152
公共債預かり資産残高	58,654	△1,719	△3,346	60,373	62,000

## 3. 自己資本比率の状況

平成24年12月末の自己資本比率は現在算定中ではありますが、10%後半の見込みです。確定次第公表いたします。

## 4. 有価証券の評価損益の状況

## 池田泉州銀行【単体】

## (1) 満期保有目的の債券（時価のあるもの）

(百万円)

	24年12月末					24年3月末				
	四半期貸借対照表計上額	時価	差額	うち益	うち損	貸借対照表計上額	時価	差額	うち益	うち損
国債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
地方債	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
社債	33,374	33,763	389	390	1	47,953	48,440	487	502	14
その他	14,000	13,965	△34	86	120	2,000	1,987	△12	—	12
合計	47,374	47,728	354	476	121	49,953	50,428	474	502	27

23年12月末				
四半期貸借対照表計上額	時価	差額	うち益	うち損
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
49,341	49,903	561	562	1
—	—	—	—	—
49,341	49,903	561	562	1

## (2) その他有価証券（時価のあるもの）

(百万円)

	24年12月末					24年3月末				
	取得原価	四半期貸借対照表計上額	評価差額	うち益	うち損	取得原価	貸借対照表計上額	評価差額	うち益	うち損
株式	59,254	55,795	△3,458	5,726	9,185	62,019	56,145	△5,874	4,798	10,673
債券	613,796	615,178	1,382	1,758	376	655,003	657,581	2,577	2,987	410
国債	387,563	387,479	△84	108	193	398,334	398,381	47	349	301
地方債	53,037	53,321	284	286	1	77,404	77,972	567	573	6
社債	173,195	174,377	1,182	1,363	181	179,264	181,227	1,962	2,064	102
その他	422,035	413,727	△8,308	6,887	15,195	437,307	428,839	△8,468	2,826	11,294
合計	1,095,086	1,084,701	△10,384	14,372	24,757	1,154,331	1,142,565	△11,765	10,612	22,377

23年12月末				
取得原価	四半期貸借対照表計上額	評価差額	うち益	うち損
59,875	50,032	△9,843	2,790	12,634
716,515	720,338	3,823	4,268	445
450,896	452,041	1,144	1,451	306
78,408	79,035	626	636	9
187,210	189,261	2,051	2,181	129
421,653	410,027	△11,625	4,203	15,828
1,198,044	1,180,399	△17,645	11,262	28,907

## 5. 金融再生法開示債権の状況

## 池田泉州銀行【単体】

(百万円、%)

	24年12月末		24年3月末	23年12月末
		24年3月末比		
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	12,432	△1,647	△132	14,079
危険債権	50,131	6,922	6,521	43,209
要管理債権	13,897	6,445	6,233	7,452
合計(A)	76,460	11,718	12,621	64,742
正常債権	3,526,683	18,405	88,911	3,508,278
総与信残高(B)	3,603,144	30,123	101,532	3,573,021

開示債権比率(A)/(B)	2.12	0.31	0.30	1.81	1.82
---------------	------	------	------	------	------

(参考) 部分直接償却額

部分直接償却額	54,089	△5,084	△5,545	59,173	59,634
---------	--------	--------	--------	--------	--------

(注) 債権額・・・・・・貸出金、外国為替、未収利息、支払承諾見返、仮払金、銀行保証付私募債、注記されている貸付有価証券  
「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」・・・・自己査定における債務者区分「破綻先」及び「実質破綻先」に対する全債権。  
「危険債権」・・・・・・自己査定における債務者区分「破綻懸念先」に対する全債権。  
「要管理債権」・・・・・・自己査定における債務者区分「要注意先」のうち、債権毎の区分で「3カ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権。  
「正常債権」・・・・・・上記に掲げる以外のものに区分される債権。